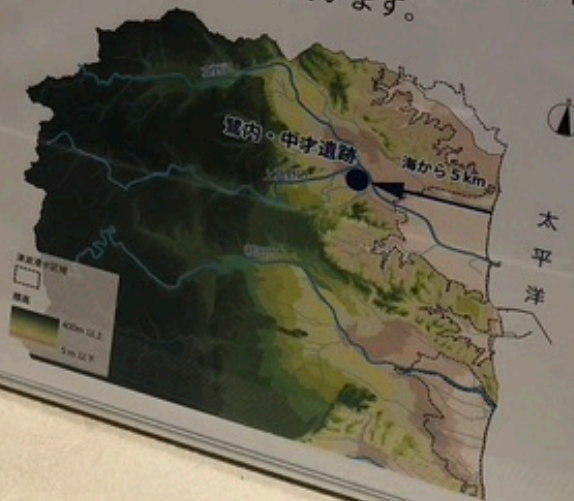




中才遺跡で塩づくり？

塩づくりには海水が必要です。しかし、中才遺跡は現在の海岸線からも約5キロメートル離れており、中才遺跡が営まれていた縄文時代晩期(2800年前)も海は中才遺跡の前にはありません。海水を中才遺跡まで運んだとは考えられないので、何らかの方法で海辺で海水から塩分を濃縮したものを、中才遺跡に持ち運び、それを再処理をして塩をつくったと考えられます。縄文人の塩づくりは、単純に海水を煮つめるのではなく、複雑な工程があることを示しています。





煮炊きにする土器
中才遺跡 縄文時代晩期 (2800年前)



文様のある土器

中才遺跡 縄文時代後・晩期 (3400 ~ 2800 年前)



製塩土器底部

て
県
に

り、
つ